

心臓CT検査ご案内

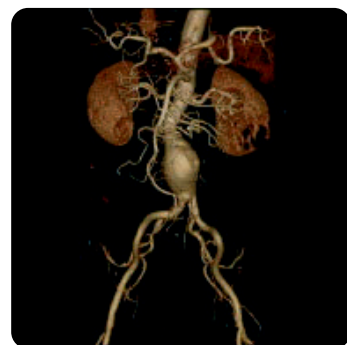
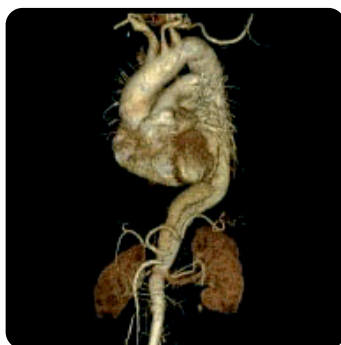


最新鋭CTで狭心症診断

平成18年3月より64列マルチスライスCT (東芝メディカルシステムズ社製 Aquilion64 Super Heart Edition) が当院に導入されました。

今回の最新鋭機は一度に64枚の断層像 (0.5mm厚) を高速に撮影することが可能であるため空間分解能、時間分解能に優れていることが特徴です。

これによりこれまで心臓自体の動きのために描出が困難であった冠動脈の動脈硬化性病変を正確に描出することが可能になりました。





当院では現在北信越地区で最も多い年間2500例の心臓カテーテル検査・治療が行われていますが、カテーテル検査・治療は動脈内にカテーテルを挿入して行うため侵襲的であり患者様によっては検査をためらい治療が遅れてしまう場合もあります。

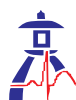
CTによる検査であれば造影剤を静脈内注射するだけでカテーテルを血管内に挿入する必要はなく、より安全に診断することが可能となり検査に対するためらいも少なくなるという期待があります。

また心臓カテーテル検査では得られない血管壁の性状に関する情報も得られるというメリットがあります。CT検査で異常があった場合は確定診断のために心臓カテーテル検査を行い、場合によってはそのまま治療を行うことも可能となります。

実際の撮影は約7、8秒の息止めだけで済み、検査に要する総時間は約20分から30分です。

そのため重症で長時間の検査が不可能な場合や長い時間の息止めが不可能な場合でも撮影が可能です。もちろん従来の頭部、肺、腹部、大血管、末梢血管などについても高精度の画像が得られます。

造影剤アレルギー、腎不全あるいは著明な不整脈がない限りは安全にしかも確実に診断が得られます。



心臓血管センター 金沢循環器病院

〒920-0007 石川県金沢市田中町は16 <http://www.kanazawa-heart.or.jp>
TEL.076-253-8000 FAX.076-253-0008 info@kanazawa-heart.or.jp